

# 関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科を卒業する学生に求めるコンピテンシー

## 理学療法学科のディプロマ・ポリシー 〔卒業認定・学位授与に関する方針〕

総合教育科目24単位、専門教育科目104単位、合計128単位を修得し、以下に示した資質・能力を身につけていること。

1. 幅広い視野から物事をとらえ、多くの人とコミュニケーションできる能力
2. 「治せるセラピスト」として対応可能な高度な知識と技術を有し、奉仕の精神をもって社会に貢献できる能力
3. 様々な理学療法の領域で科学的に対応できる能力

## 理学療法学科が学生に求めるコンピテンシー

①	人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
②	倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③	コミュニケーション能力	他者の意見を理解し、それに対する自らの意見を明確に伝えることができる
④	協調する力	目的を果たすために社会のなかで多様な人々と協調することができる
⑤	専門知識	医学、理学療法学に関する体系化された高度な知識を駆使できる
⑥	専門技術	理学療法士として有すべき高度な技術を駆使し実践できる
⑦	臨床推論力	深い専門知識に基づき、臨床現場の問題解決のために推論することができる
⑧	科学的思考力	必要な情報・データを収集し、科学的かつ論理的に思考できる

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に編成したカリキュラムのもとで教育を行っている。

また、各学科では「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程において身につけることを期待する8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めている。学生は、1つ1つの授業科目を学年ごとに履修しながら、この8つのコンピテンシーの修得を積み重ねることで、卒業時には本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけ、「社会に役立つ」医療人として活躍することを目指す。

## 理学療法学科のカリキュラム・科目履修で身につけるコンピテンシー

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	①⑧ 物質と自然のしくみ ①⑧ 生命の化学 ①② 心と身体の健康 ③④ 生涯スポーツ I ①④ スポーツと健康 ①⑤ 生薬の科学 ④⑤ スポーツ社会学 ④⑤ スポーツコーチング論 ④⑤ アスレティックトレーナー概論 I ⑤⑥ アスレティックトレーナーの役割 ①③ 国語表現法 ①③ 英語表現法 I	①② 生命のしくみ ①③ 情報科学 ①② 生命倫理 ③④ 生涯スポーツ II ①② 環境と健康 ⑤⑥ 東洋医学と西洋医学 ④⑤ アスレティックトレーナー概論 II ①③ 英語表現法 II	①③ 英語表現法 III ①③ 中国語	①③ 英語表現法 III ①③ 中国語					
	専門教育科目	⑤⑦ 人体の構造 I ⑤⑦ 人体の機能 I ②⑤ 医学概論 ②⑤ 臨床心理学概論 ④⑤ リハビリテーション概論 ⑤⑥ 理学療法概論 ⑤⑥ 基礎ゼミ I	⑤⑦ 人体の構造 II ⑤⑦ 人体の構造実習 ⑤⑦ 人体の機能 II ⑤⑦ 人体の機能実習 ⑤⑦ 基礎運動学 I ④⑤ 保健医療福祉概論 ⑤⑥ 運動療法概論 I ④⑤ 感染管理学 ④⑤ 安全管理学 ⑤⑦ 評価学総論 I ⑤⑥ 基礎ゼミ II	⑤⑦ 基礎運動学 II ⑤⑦ 基礎運動学実習 ⑤⑦ 人間発達学 ⑤⑦ 衛生・公衆衛生学 I ⑤⑦ 病因・病態学 I ⑤⑦ 内科診断学 ⑤⑦ 外科診断学 ⑤⑦ 整形外科学 ⑤⑦ 神経内科学 ⑤⑥ 運動療法概論 II ⑤⑦ 日常生活活動学 ⑤⑦ 評価学総論 II ⑤⑦ 検査測定学 ⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学 I ⑤⑥ 脳血管障害理学療法学 I ⑤⑥ 義肢装具学実習	⑤⑦ 衛生・公衆衛生学 II ⑤⑦ 病因・病態学 II ⑤⑦ 内科各論 ⑤⑦ 外科各論 ⑤⑦ 心身医学 ⑤⑦ 加齢医学(老年医学) ⑤⑦ 皮膚科・感覚機能医学 ⑤⑦ 麻酔蘇生学 ⑤⑥ 運動療法概論実習 ⑤⑦ 動作分析学 ⑤⑥ 評価学実習 I ⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学 II ⑤⑥ 脳血管障害理学療法学 II ⑤⑦ 義肢装具学 ⑤⑦ 物理療法学	⑤⑦ 免疫学 ⑤⑦ 小児・産婦人科学 ⑤⑦ 食品栄養学 ⑤⑧ 臨床生理学 ⑤⑧ 医学推計学 ⑤⑥ 評価学実習 II ⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学 III ⑤⑥ 脳血管障害理学療法学 III ⑤⑥ 神経筋疾患理学療法学 I ⑤⑥ 小児疾患理学療法学 I ⑤⑥ 脊髄損傷理学療法学 ⑤⑥ 老人理学療法学 ⑤⑥ 内部障害理学療法学 ⑤⑥ 物理療法学実習	⑤⑥ 神経筋疾患理学療法学 II ⑤⑥ 小児疾患理学療法学 II ⑤⑦ 総合理学療法学 ⑤⑦ 地域理学療法学総論 ⑥⑦ 臨床評価実習 ⑥⑦ 理学療法臨床実習 I ⑥⑦ 理学療法臨床セミナー	⑥⑦ 理学療法臨床実習 II ⑥⑦ 理学療法臨床実習 III	⑤⑦ 地域理学療法学各論 ⑤⑦ 東洋医学概論 ⑤⑦ 東洋医学と理学療法特論 ⑥⑦ 神経難病理学療法特論 ⑥⑦ 精神疾患理学療法特論 ⑥⑧ スポーツ理学療法特論 ⑦⑧ 理学療法研究法